

お知らせ

令和4年3月25日

中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター
病院長 篠田淳

中部脳リハビリテーション病院及び中部療護センターでは下記の要領で臨床研究を予定しています。

- 研究題名 頭部外傷後の長期的な機能予後の検討
- 目的 頭部外傷後に高次脳機能障害を後遺した患者の実態調査からリスク解析を行い、リハビリを含めた早期からの支援体制を提供することを目的とする。
- 対象と方法 2010年4月1日から2021年3月31日に岐阜大学医学部附属病院に頭部外傷（脳震盪、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳挫傷、外傷性くも膜下出血）のため入院した患者に対し、受傷から1年以上経過した時点での神経症状、生活状況、高次脳機能検査、画像検査などに関して評価を行う。また中部脳リハビリテーション病院・中部療護センターで高次脳機能検査、画像検査が行われた患者に関しては同院の検査データ及び紹介状を用いる。
- 人権擁護 ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行う。
- 研究代表者 矢野大仁（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター）

本研究では2010年4月1日から2021年3月31日に日の間に中部療護センターで検査を行った頭部外傷患者のMRI、PET、生理学的検査、認知機能検査などのデータを使用いたします。

この件につきまして疑義がございましたら2022年5月30日までに下記までお申し出ください。

中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター
脳神経外科 矢野大仁
TEL : 0574-24-2233